

NTT
国際通信

海外進出を図りグローバルに展開する企業に向けて 高品質な「プレミアムデータセンター」を調達・提供

2007年以降、グローバル データセンター事業を本格展開

NTT国際通信（NTT WT）は、NTTコミュニケーションズ（NTTコム）と連携し、「プレミアムデータセンター」を通して高品質なICTソリューション提供を強力にバックアップすることで、NTTコムが提供するグローバルICTソリューションをより安全・安心に利用できるようにすることをミッションとしている。

同社はNTT再編後の2001年に設立されたが、本格的にデータセンター事業を開始したのは2007年11月である。当初ニューヨーク、ロンドン、シンガポールに各支店を設置し、データセンターの調達・提供を手がけ始めた。その理由は、グローバル展開を図る日本企業や海外の日系企業から、海外でも国内で利用するものと同等の品質のデータセンターが求められるようになってきたことによる。NTT WTがデータセンター事業を始める前は、海外各地域のデータセンターのロケーションにフロアやラックを各現地法人等が個別に調達し提供する業務を行ってきたが、それぞれ品質に差が出るという問題

が発生していた。国内外問わない高品質なデータセンターを提供するために、過去に現地法人が調達したデータセンターのリソース（品質）の管理も含めたグローバルなデータセンター事業全体を同社が手がけることになった。

2008年10月には、NTTコムの香港拠点であるNTT Com Asiaから、APT Satellite Telecommunicationsの全株式を取得してNTT WT HKとして子会社化し、香港でのデータセンター事業を開始し、2009年9月現在、NTT WTは海外29都市でデータセンターを展開している。

「プレミアムデータセンター」を目指し、徹底した品質管理を行う

NTT WTは、高品質、高信頼なデータセンターを提供するために、独



NTT国際通信㈱
代表取締役社長 大宮 功氏

自の品質基準を策定して「プレミアムデータセンター」として調達、提供している（図1参照）。プレミアムデータセンターとはNTTコムがこれまで日本国内の通信設備ビル／データセンターを構築・運営してきた技術ノウハウをベースにTUI（The Uptime Institute：米国民間データセンター評価機関）、TIA（米国電気通信工業会）、ASHRAE（米国暖房冷房空調学会）などの海外技術基準を参照しつつ策定した、約130項目に上る基準に基づいて構築・運営する高品質なデータセンターのことである。

NTT WTの代表取締役社長の大宮 功氏は、プレミアムデータセンターについて次のように語っている。

「データセンターとして必要な信頼性を担保するための条件を、内部統一基準である

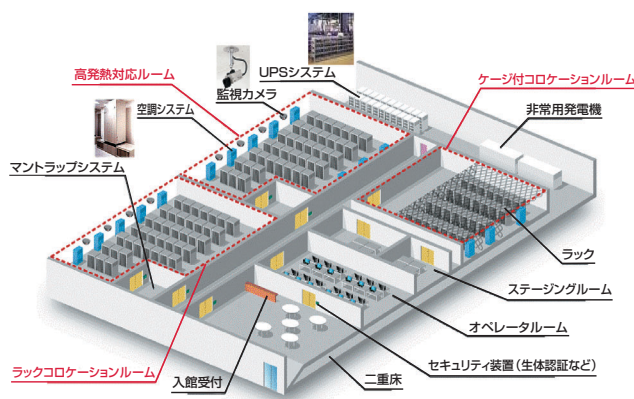


図1 プレミアムデータセンターの例

『データセンター基準書』として完備しています。これは、NTTコムが国内の通信設備ビル、データセンターで培ったキャリアとしてのノウハウをベースに、設備だけではなく運用の両面から、高品質のデータセンターを担保できる条件を取りまとめたものです。これに基づき、各拠点の実地チェックを実施することで、お客様に安心してご利用いただく環境を整えています。

現在、NTTコムグループのデータセンターは新規／既存ともに、すべてこの基準書に基づいて調達、運用、管理を行っており、統一的な品質基準を担保しています。」

■ 複数キャリアNWで冗長構成を実現した「Tai Poデータセンター」

NTT WTは、アジアのデータセンター拠点の一つとして、2009年1月に「Tai Poデータセンター（香港）」を開設した。このデータセンターは香港鉄道（MTR）の最寄り駅より車で5分、香港国際空港から車で40分の立地条件にある。7階建ての堅牢なビルは、電源ケーブルのシャフトが二重化できるなど、まさに高品質なデータセンターを意識して建設されたといっても過言ではない。また、複数通信事業者（2009年8月現在6社）のネットワークを引き込んでおり、お客様の希望する通信事業者の回線を提供するばかりではなく、異経路二重化の冗長構成を実現したネットワークも可能になる。このように、様々な面においてお客様のBCPに配慮している。

さらに、運用面においても、最新鋭の監視カメラや生体認証装置を導入するだけでなく、常駐の警備員による常時監視を行うなど、万全のセキュリティ対策をおこなっている上に、現地のオペレーションセンターでは、24時間365日、日英中三ヶ国語による対応が可能であり、お客様に安心してご利用いただける環境を提供している。

香港はグローバル企業の重要拠点のひとつであるが、島が多く狭い国土の上に平地が少ないといった立地からデータセンターが通常のオフィスビルの一角に設置されているような環境も数多くある中で、これだけ条件の整ったデータセンターは希少な存在であり、香港にデータセンターを築きたい多くの企業からの関心が集まるのが容易に想像できる。

■ さらなる事業拡大やサーバールーム面積拡大に向けて

NTTコムの顧客は多岐にわたり、銀行や商社、製造メーカー等、北米、アジアやヨーロッパに向けてグローバルな事業展開を行っている企業が多い。また、海外のグローバル企業も顧客に名を連ねている。こういった中でNTT WTがグローバルな統一品質基準の下にデータセンターサービスを提供することができる意味は大きい。

前出の大宮 功氏は、データセンター事業の今後の展開について次のように語っている。

「NTT WTは、少しでも多くのお客様にプレミアムデータセンターを実感していただけるよう海外での更



写真1 オペレーションルーム

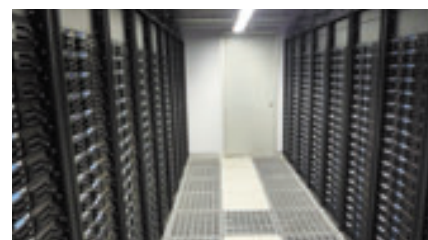


写真2 高電力サーバールーム



写真3 NTTコムロゴ入りラック

なる拠点展開を図っていくとともに、そのデータセンターがプレミアムデータセンターであり続けるために、今後とも努力を重ねていくつもりです。また、昨今グリーンデータセンターという言葉が出ておりますが、全体的にまだ緒についたばかりであります。NTT WTは高電圧直流給電等の国際標準化の動向や、ラックに搭載される機器を含む、市場における関連製品の動向を見据えつつ、グリーンデータセンターが単なるアドバルーンや掛け声に終わらないよう対応していくつもりです。」

● お問い合わせ先 ●

NTT国際通信株式会社
TEL : 03-3798-1521